

6.19 株主総会宣伝行動

活動は、解決まで続く

株主「ベテランの解雇はおかしい！」

会場に向かう株主にチラシ 75名の参加で配布

6月19日、台風と梅雨前線の影響により、東京都内は強い南風に見舞われました。この日は日本航空の経営破綻以降、初めての株主総会が開催されました。

私たちJAL原告団・国民共闘は、一人でも多くの株主の方々に、JALの再生には、何が求められているのかを伝えるために、宣伝行動を行いました。

株主総会が開かれる日本武道館の最寄駅=地下鉄九段下駅でのチラシ配布には、原告団をはじめ国民共闘に結集する75名の方が参加しました。

開場は朝8時30分。総会が始まる10時までの1時間30分を会場へ向かう株主や通行人の方々にチラシを渡しながら、それぞれの声で「不当解雇撤回し、職場に戻してください」と訴えました。会場へ向かう株主からも支援の声をいただき、私たちの運動の広がりが実感できました。

来場した株主は1600人以上にのぼり、2時間を超える総会で15人の株主が質問を行いました。そのなかで、JAL破綻に対する謝罪がないことへの不満や、B787型機のバッテリートラブルの原因究明がされないまま運航を再開したことへの不安の声が出されました。

「ベテラン排除し新人採用はおかしい」 「ILO勧告はどうなっている？」 不当解雇で株主から質問

総会では、不当解雇事件に関する質問も出されました。「会場近くでビラを受け取りました。この人たち、ベテランを航空機に乗せないでおいて、新人を採用しているのはおかしい」「ILO（国際労働機関）からひどい解雇



だといわれ、勧告が出されているそうだが、その内容は？ また政府からどう聞いているのか？

指名された役員は答弁に立たず、労務担当が「政府から正式な指導はない」と答えました。こうした質問が出されることは、株主もJALにたいして一日も早い自主解決を求めていることの証です。

不当解雇テッカ～イ！ 銀座パレードでアピール

株主総会会場での宣伝行動の後、銀座パレードの出発地点の水谷橋公園へみんなで移動。恒例となった毎月の銀座パレードは、昼12時出発。参加される方々には、集まりにくい時間・場所でしたが、59名の参加をいただきました。

これまで夜の銀座パレードが中心でしたが、今回は昼に実施。通行人の方々の反応も幾分違いがありました。街宣車からのアナウンスに合わせて、「解雇撤回！ 差別撤回！ ILO勧告守れ！」という掛け声が数寄屋橋に響きました。

JAL原告団は、一日も早い解決を求めてこうした行動を続けていきます。皆様のますますのご支援をよろしくお願いいたします。



【写真】銀座マリオン前の交差点を行くパレード